



勢いよく立ち上る、どんごやの炎は圧巻

います。「今年で3回目の参加です。ベトナムにはどんごやのようなイベントはありませんので、毎回、楽しんでいきます」と二人とも瞳をキラキラと輝かせました。

天高く舞い上がる炎

どんごや当日は、真つ青な空が広がりが絶好の晴天となりました。櫓の周りには、正月のしめ縄や飾りを手にした大人や子どもたちが続々と集まります。午前11時に櫓に火入れが行われると、バチバチバチと、けたたましい音を立てて、天高く大きな火が舞い上がりました。

どんごやの火を見守るのは、益城町消防団第2分団第6班の皆さんです。火が落ち着くと、参加した子どもたちとのジャンケンゲームやたこあげ、焼き芋、カップ麺のサーブスなど、楽しい企画がいろいろと用意されています。

やがて収まった残り火で、参加者は持参した鏡餅を焼き、おいしそうに頬張っていました。

せえのが、さん、はいっ

「準備体操。肩と脇腹を伸ばす運動です。せえのが、さん、はいっ」

DVDの映像と音に合わせて、椅子に座ったまま両手を左、右に伸ばしながら身体を動かす皆さん。毎週土曜日午前10時から、安永4町内公民館集会所には25人ほどの地域の人が集まり、「いきいき百歳体操」が行われます。およそ40分間、仲間と一緒に体操を行うことで、心身がほぐれていくと皆さんは口をそろえます。

集会所は安永団地の中にあり、参加者の中には「地震により団地に移った人もいて、顔を見るとほっとします」と言う人もいます。しかし、昨今のコロナ禍により、一時はこの集まりも自粛を余儀なくされました。

「以前は体操が終わったら、一緒にお茶を楽しみました。現在は距離を取り、会話を控えるなど注意しながら行っています。それでも、こうして顔を合わせることで皆さん、元気になられるようです」と話すのは、4町内区長の飯干毅さん(84)です。

先輩の生き方に学ぶ

「いきいき百歳体操」の参加者の中に、最高齢の米田昌子さん(92) 安



ジャンケン大会も開催。子どもたちは勝つまで勝負してお菓子をもらいました

永4町内Ⅱがいました。「青春時代に戦争、そして熊本地震も体験したけど、人間には立ち直る力がある、決して弱くない生き物だと思いましたね」と、かくしゃくとした話しぶりです。政治についても関心が深く、ご意見もいろいろとお持ちのよう。

その一方でセーターの胸にブローチをほどこすなど、しゃれっ気も光ります。そんな米田さんの格言はこうです。

- 一、物を大切に
- 二、真面目に仕事に取り組む
- 三、嘘をつかない
- 四、身だしなみを整える

ああ、どれも耳に痛いものばかり…。大先輩の凜とした生き方を見習って、これから襟を正したいと思えました。



左/安永4町内公民館集会所で、毎週土曜日に行われている「いきいき百歳体操」の様子



上/御年92歳の米田昌子さんのお話は、人生の指針としたいことばかりです
左/「いきいき百歳体操」に参加している安永4町内の皆さん



ベトナム出身者の二人(左右)と、中央は彼らが勤務する会社の経営者で安永3町内区長の石田さん